



第35回全国健康福祉祭えひめ大会
開会式で声援を送る福岡県選手団の様子
(関連記事4頁)

今号の内容	
P 1	令和5年福岡県社会福祉大会を開催しました
P 4	ふくふくNEWS 第35回全国健康福祉祭えひめ大会
P 5	地域の担い手確保・育成に向けた取組
P 7	赤い羽根共同募金
P 9	ふくふくINFO

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。

ふくおか@ふくし
TEL(092)584-3377 FAX(092)584-3369 発行日/2023年(令和5年)12月21日 編集発行/酒見隆夫 印刷所/株式会社インテックス福岡

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

令和5年度 スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!

ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp

社会福祉施設総合損害補償
しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

賠償事故に対応	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中) 500万円 被害者対応費用(1名につき) 1事故10万円限度	500万円 1事故10万円限度
傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

② 個人情報漏えい対応補償

③ 施設の什器・備品損害補償

●オプション1 ●訪問・相談等サービス補償

●オプション2 ●施設の医療事故補償
・医務室の医療事故補償
・看護職の賠償責任補償

●オプション3 ●施設の借用不動産賠償事故補償

●オプション4 ●クレーム対応サポート補償

●オプション5 ●施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心

①休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償

②消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償

③感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取!

プラン2 施設利用者の補償 (普通傷害保険)

① 入所型施設利用者の傷害事故補償

② 通所型施設利用者の傷害事故補償

③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 職員等の補償 (労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

① 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償

② 役員・職員の傷害事故補償

③ 役員・職員の感染症罹患事故補償

④ 雇用慣行賠償補償

プラン4 法人役員等の補償 (役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12033 から抜粋)

令和5年福岡県社会福祉大会を開催

県内社会福祉関係者の総意をもって 「大会宣言」「実践申合せ事項」「特別アピール」を採択

去る10月23日（月）、クローバープラザで、令和5年福岡県社会福祉大会を開催しました。
本大会では、県内の社会福祉協議会や社会福祉施設関係者、民生委員・児童委員など社会福祉関係者が一堂に会し一人ひとりが豊かさを実感できる地域共生社会の実現に向けて取り組んでいく契機として、記念講演、式典・総会を行いました。

記念講演（要旨）

「複雑・多様化する社会に 대응するために
つながりの大切さ」

同志社大学 社会学部 教授 永田 祐 氏

コロナ禍の影響により、多くの地域活動が休止を余儀なくされ、外出の自粛などにより人と人との繋がりが一層希薄化し、社会的孤立が社会問題となつています。今後、少子高齢化の進展に伴い、この問題はさらに深刻化していくと予想されています。

また、社会的孤立と要介護状態は関係があります。社会参加活動をしていない人や人との接触頻度が低い人と比べ、「誰かと何かを一緒にするなど社会参加し、人の役に立つ社会的役割を持つている人は要介護状態になりにくいこと」が近年の研究の常識となつてきています。

現在、地域で活動されている方たちは、たくさんの方の役割を担われていて、大きな負担を感じている方もいらっしゃると思います。地域活動に参加する方は減少傾向にありますが、社会に貢献したいと考えている方はたくさんいます。

そこで、最近では社会に貢献しやすいようにその方の得意なことを活かして参加してもらう方法や、本業の中で参加してもらう方法（農福連携や漁港で子ども食堂の開設など）を実践している地域が少しずつ増えてきているように思います。

社会的孤立等の課題を解決していくには、社会福祉協議会や福祉関係団体、民生委員・児童委員など地域の様々な人や機関・団体が協力・連携しながら、人と人、人と地域の繋がりがづくりを進めるため、包括的な支援体制を整備していくことが重要となっています。また、地域共生社会の実現に向け、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、支え合いが循環するような地域づくりや孤立した人に出番があり、役割を発揮できる居場所づくりに向け、垣根を越えて力を合わせていくことも必要です。

私たち日本人は「助けること、助けられること」が苦手なのかもしれないですが、地域の中で「助け上手、助けられ上手」が増えることが共生社会ではないかと思つています。一歩ずつ共生社会の実現に向けて、互助が特別なことでなく、互いを助け合える範囲が少しずつ広がるような取組を進めていきたいと思つていきます。

5・6頁では、県内で地域の担い手となる人材の確保や育成に向けた取り組みを紹介しています。



福祉関係者が一堂に会する、式典・総会を開催

本大会には、県内各地から福祉施設・事業所や民生委員・児童委員などの福祉関係者約750人が参加されました。大会会長である本会 酒見俊夫会長は、開会にあたり「近年、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、社会福祉の枠組みでは対応しきれない様々な課題が広がっています。地域共生社会の実現に向けた取組を進めていく中で続いたコロナ禍では、複雑化・複合化したさまざまな課題が顕在化し、制度の狭間にあるニーズに積極的に対応していくことの重要性を改めて認識しました。そこで本大会では、コロナ禍の経験を踏まえ、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、私たち社会福祉関係者の役割を改めて確認する契機として参りたい」と式辞を述べました。

本大会総会では、県内社会福祉関係者の総意をもって、「大会宣言」「実践申合せ事項」「特別アピール」を採択しました。

「特別アピール」については、地域福祉を担う関係者の切実な総意として、厚生労働省、福岡県、県内市町村に対し要望しました。

（「大会宣言」「実践申合せ事項」は3頁に掲載）



特別アピール

現在、我が国では、少子高齢・人口減少が急速に進展するなか、福祉人材の確保、養成、定着が喫緊の課題となつています。また、約3年に亘るコロナ禍により、これまで潜在化していた様々な地域生活課題が明らかになり、人々の命と暮らしを守る役割を担う福祉分野の人材確保の必要性が一層増大した。その解決には、処遇改善や労働環境の整備を行い、福祉の仕事の意義や魅力を広く発信し、新たな人材発掘・養成及び離職した福祉人材の再就職支援、専門性を高める研修事業の充実等に取り組む必要がある。

また、国は、社会福祉協議会、社会福祉法人・福祉施設、民生委員・児童委員等が持てる力を最大限に発揮し、地域のセーフティネットとして、急増する福祉ニーズに連携・協働し支援することに期待している。

しかし、そのための十分な財源措置がなされているとはいえず、物価の高騰、増加する福祉ニーズへの対応など、今後、更なる財源の確保が必要である。

国及び地方公共団体においては、地域共生社会の実現に向け、社会福祉関係者の意見を十分に取り入れるとともに、国と地方における責任・財源の明確化を基本とした仕組みづくりを進めていただくよう、県内社会福祉関係者の総意をもって強く要望する。

永年にわたり社会福祉の向上に貢献された皆様を表彰いたしました

福岡県社会福祉大会では、社会福祉功労者に対する表彰式を行いました。

表彰式では、福岡県知事、福岡県社会福祉協議会会長、福岡県共同募金会会長、それから表彰状・感謝状の授与と併せて赤い羽根キャッチフレーズの最優秀賞の表彰を行いました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。今後ますますの御活躍・御健勝をお祈り申し上げます。



服部福岡県知事から社会福祉功労者への表彰状授与

表彰者一覧

■福岡県知事表彰		■福岡県知事感謝	
民生委員・児童委員	10名	民生委員・児童委員	195名
社会福祉事業団体関係者	11名	社会福祉事業団体関係者	8名
社会福祉事業施設従事者	51名	社会福祉事業施設従事者	89名
心身障がい者自立更生者	2名	ボランティア等功労者	20名、13団体
ボランティア等功労者	2名、15団体		
ボランティア協力校	1校		
■福岡県社会福祉協議会会長表彰		■福岡県社会福祉協議会会長感謝	
社会福祉事業特別功労者	206名	社会福祉事業協働者	2名、20団体
民生委員・児童委員特別功労者	194名		
優良社会福祉事業施設	20施設		
優良社会福祉協議会	3校区・1地区社協		
■福岡県共同募金会会長表彰		■福岡県共同募金会会長感謝	
会長表彰	個人27名、7団体	会長感謝	個人54名
優秀地区	11市区町村支会		5団体
■赤い羽根キャッチフレーズ入選作品・特別賞			
最優秀作品	1作品		
優秀作	10作品		
特別賞	24校		

大会宣言

我が国は、少子高齢化・人口減少、地域社会の脆弱化等、複雑化・複合化している地域生活課題に加えて、約3年に亘り猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちの健全な育成や養育環境、障がい者や高齢者等支援が必要な方の生活の質に大きな影響を及ぼしました。

このような状況の中、国においては、人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で、自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていくことのできる「地域共生社会」の実現を目指して取組が進められています。

一方で、これらの取組において多機関連携・協働を担う社会福祉協議会、社会福祉法人・福祉施設、民生委員・児童委員等、福祉分野の人材不足は深刻であり、我が国の少子高齢化・人口減少が本格化するなか、その確保、養成、定着のための対策が喫緊の課題となっ

ています。

加えて、本県では、毎年のように大規模な自然災害が頻発しており、本年は7月の大雨災害により県内10市町村に災害救助法が適用され、県内外の大きな力を借りて、その復旧・復興に取り組むなど、日頃からの備え、地域間の連携がますます重要となっています。

このような時こそ、ともに地域を支える社会福祉関係者は、これまでの経験と実績を活かし、それぞれの立場で質の高い専門性を発揮するとともに、次世代の福祉の担い手の育成にも力を注ぎ、地域福祉の推進役としての役割を果たすことが強く求められています。

本大会において、私たち社会福祉関係者は、これまで以上に多職種・多機関・団体との連携強化に努め、国・県・市町村と協働して、すべての人が安心して暮らすことができる福岡県づくりに一致団結して取り組むことを誓い、ここに宣言します。

実践申合せ事項

① 共に支え合う地域共生社会の実現

地域の様々な主体が参画し、分野・世代を超えてつながるよう、住民主体による課題解決力の強化並びに包括的な相談支援体制づくりを、地域住民との連携により実践し、共に支え合う地域共生社会の実現に努めよう。

② 生活困窮者支援の取組強化

コロナ禍により深刻化した県民の経済的困窮や社会的孤立等の課題解決・改善に向け、関係機関・団体の幅広い連携による生活困窮者支援に努めよう。

③ 福祉人材の確保、養成、定着のための総合的な対策の強化

次世代を担う若年層に向けたイメージアツプを図るための広報活動の充実・強化、働き方

④ 社会福祉法人の地域における公益的な取組の強化

社会福祉法人は、極めて公益性の高い非営利法人として創設された経緯に鑑み、その責務として、様々な地域生活課題や福祉ニーズに対し、自らの公益性を自覚の上、積極的に役割を果たしていけるよう努めよう。

⑤ 大規模災害への対応強化

相次ぐ大規模な自然災害に備え、日頃からBCP(事業継続計画)の策定をはじめ、地域住民、関係機関・団体と協働し、地域の防災力

の向上を図るとともに、福祉サービス利用者が安心してサービスを受けられるよう体制の強化に努めよう。

⑥ 福祉サービスの質の向上と利用者支援に向けた取組の強化

福祉サービスの質の向上と適切なサービス利用を支援するため、福祉サービス利用援助事業や苦情解決事業、第三者評価事業など、総合的な権利擁護体制の推進に努めよう。

⑦ 共同募金運動の取組強化

民間の社会福祉活動を財源面から支援する共同募金運動の強化に取り組み、さらなる推進・拡大に努めよう。

ふくふく NEWS



ねんりんピック
笑顔のえひめ2023
福岡県選手団



第35回全国健康福祉祭えひめ大会開催 「健康マージャン交流大会で優勝しました!」

第35回全国健康福祉祭えひめ大会(以下、「ねんりんピック」という。)が10月28日(土)から31日(火)までの4日間、愛媛県で開催されました。愛媛総合運動公園陸上競技場(松山市)で行われた総合開会式では、各県・政令市選手団の代表者による入場行進が行われました。

交流大会では愛媛県内20市町で29種目の競技が行われ、日頃からスポーツや文化を通じて生きがいづくり、健康づくりを実践している60歳以上の全国の元気な高齢者約10,000名が各地で熱戦を繰り広げました。

福岡県からは、選手・本部役員を合わせて18種目に123名を派遣しました。

福岡県選手団は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、健康マージャンの団体戦優勝をはじめ、将棋個人戦並びにダンススポーツ(ワルツ)の3位など各種目において優秀な成績を収め、元氣な福岡県をアピールすることができました。



選手からは、「対戦チームはうちより若い選手が多く勢いがあり、目標は果たせなかったが、他の大会で顔なじみの人たちの姿に元気をもらった」「知らぬ間に緊張していて、練習通りにできず悔しかった」「他県の選手の試合を見られていい刺激となった、参加できて良かった」等の声が聞かれました。

大会を通して選手同士の交流の輪が広がりました。ねんりんピックは、スポーツや文化活動、地域貢献活動などの楽しさや生きがいを実感し、「生涯現役社会」「健康長寿社会」を築く礎として、また、生涯を通じての健康づくりに取り組むきっかけとなることが期待されます。

福岡県選手団の主な成績

種目	チーム・個人	成績	出場区分
健康マージャン	福岡県どんたくチーム	優勝	団体戦
将棋	個人 古賀 雅孝 氏	3位	師(かます)グループ
ダンススポーツ	個人 堤 憲治郎・薫ベア	3位	ワルツ
バトミントン	とびうめ	3位	70歳以上の部
剣道	福岡県	ベスト8	

地域の担い手の 確保・育成 に向けた取組

1 頁に紹介している福岡県社会福祉大会の記念講演で講師が講演されているように、各市町村と社会福祉協議会は、地域の担い手となる人材の確保や育成に向けた取り組みを進めています。今号では「春日市」の取り組みを紹介します。



中学生による
地域活動の様子



自治会活動の
支え手

春日市概要

人口 112,478人
世帯数 50,843世帯
市域 14.15km²
自治会加入率 72%
(令和5年4月現在)

福岡市のベッドタウンとして都市化が進んだ春日市は、九州最大の人口密度を有し、交通網も充実したコンパクトシティです。地域の主体性や自主性を尊重し、お互いの立場を理解しながら、一緒に汗を流してまちづくりに取り組む「協働のまちづくり」を目指しています。

市のまちづくりの中核を担っている自治会は、各地区公民館を拠点に活動しており、単独の自治会だけでは困難な取組や地域課題には、すべての自治会が集まった自治会連合会で共有・検討しながら中学校区ごとに研修事業やふれあい事業（主にニユースポーツ）など、様々な取組を行っています。

また、市ではすべての小・中学校で学校・家庭・地域の三者が一緒になって子どもを育てる「コミュニティ・スクール」という仕組みをつくり、地域への貢献活動として、児童や生徒が自分の住む地域の

行事へ主体的に参画し交流を深めています。この取組は、春日市の特徴の一つとなっています。

これらの活動を続けていくことにより、児童や生徒は、自分が「地域の担い手」であるという自覚を持つとともに、地域の中で自分が育てられているという経験が蓄積されていきます。少しずつではありますが、卒業後も地域活動に参加する方が出てくるなど、地域の活性化につながっているほか、児童や生徒が地域活動に参画することで、保護者が様々な地域活動への理解を深めることにもつながっています。

加えて、市では、情報発信も欠かせない要素と考えており、令和3年度には、自治会の基本的な特徴や活動を、写真やイラストで分かりやすくまとめたパンフレットを作成し、自治会の加入促進に活用しています。

さらに、令和4年度には、

実施できなくなっていました。が、令和5年度には、ほぼ活動が再開されました。

しかし、停止期間の長期化で活動者のモチベーションが低下していたことが分かったことから、活動を始めた頃の気持ちを呼び覚ますことをテーマとした地域福祉研修会を開催しました。研修会では、まちづくりに関する調査・研究やひとづくりによる地域おこしなどを専門的に行っている講師による笑いを交えた講演のほか、活動者同士の情報交換を行い、普段の活動の悩みや活動の工夫を共有することで、参加者の意欲を引き出すきっかけとなりました。

また、市社協では、地域活動やボランティア活動に触れる機会を増やすとともに、活動を始めるきっかけが身近になるよう、フリーマーケットなどのイベントの開催に併せて、ボランティア募集を行ったり、日常的な見守りや災害時等、緊急時に備えるために

声かけなどの役割を担ってくれる方を増やす機会をつくっています。

新たにボランティア活動に参加いただいた方には、その活動が楽しかったと実感できるような工夫をしています。そのような体験が次の活動への参加や協力につながり、新たな地域の担い手につながっています。

「いつも同じ顔ぶれで活動をしている」「新しい担い手が入ってこない」という地域活動の担い手不足や固定化は、全地域共通の悩みと言え、かもしれません。この問題に正面から向き合い、「なぜそうなのかなのか」「どんな手立てが考えられるか」などを話し合い、各自治会で協力しながら、今あるすばらしい地域活動がこれからも継承されるように、担い手の入口と受け皿づくりを後押ししていく取組を模索しています。

一方、市民活動団体の交流や支援の拠点である「春日ま

春日市制50周年を記念して市が推進する協働のまちづくりの成果をまとめた冊子を発行し、令和5年度からは新たに月に一度、市報に自治会活動を掲載し、広報していきます。

自治会の活動を市民にしっかりと伝えることで、地域の最先端で活動する人たちが、各地区の地域性を活かしながら、その地域のために知恵と魅力を出し合い、共に考える機会になっています。

春日市社会福祉協議会（以下、「市社協」という。）では、市がめざす協働のまちづくりをさらに推進するため、「顔の見える支え合いの仕組みづくり」を目標に、各自治会が行っている高齢者サロンや子育てサロンの支援、地域福祉研修会、ボランティア講座等を開催しています。令和元年度からは、コロナ禍で地域の方たちが集合して行う地域活動が従来どおりの方法では

ちづくり支援センター（通称：ぶどうの庭）では、「まちの活性化に興味がある」「まちづくりに活動に関わってみたい」「市民が市民を支える取組を応援したい」という志のある市民が集い、イベントなどを開催しています。自発的に集まることのできる拠点があることで、まちづくり活動に参画・体験する人が増え、市民や団体間のネットワーク形成の一助となっています。

加えて、視点を変えて「地域活動に新たに入っていく人」の目線に立ち「こんなところが関わりにくいのでは」「こんな地域なら関われるかも」「この世代にはどのアプローチがよいか」などを考えながら、地域活動へ参画するハードルを越えやすいようにチャレンジし続けていくことが協働のまちづくりにつながっていると思います。



中間市支会の取組 寄付つき商品とコラボ 初めての試みに挑戦

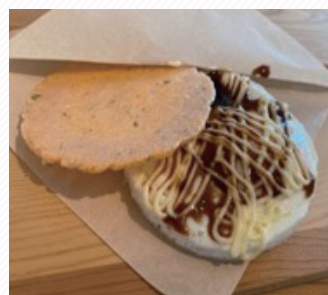


共同募金会中間市支会では、共同募金運動をPRするため、10月15日（日）に中間市のなかまハートホールで開催された「ふるさと意識の向上」や「地産地消」の啓発を図った「筑前中間やちやれ祭り」の中で「共同募金コーナー」を設置しました。

4年ぶりの開催とあって、当日は大賑わい！中間市支会も、これまでの「共同募金コーナー」とは

趣向を変え、「みーとばいはうす」様の御協力により中間市の寄付つき商品である「たません」を、祭り当日限定価格で販売し、売り上げの一部を共同募金に寄付いただきました。

中間市支会では、このような取組を行いながら、地域の方との触れ合いを通じて、今後も共同募金運動を推進していきます。



たません 1個180円（税抜）

目玉焼きとえびせんをオリジナルソースとマイルドなマヨネーズで味わう。子どもの頃に駄菓子屋で買ったような懐かしくて優しい味がします。

1個につき、10円が共同募金会中間市支会へ寄付されます。中間市にお越しの際は、ぜひご賞味ください。

新 寄付つき商品を紹介！



天宮セット1,200円

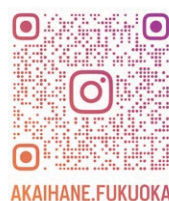
令和5年7月13日から、新九協同様の御協力により、「思い出に寄り添う味を提供したい」という熱い想いと共に、壮大な景色を望むことができる血倉山で、絶品カレーに唐揚げとドリンクがついた寄付つき商品「天宮セット（血倉山カレー、からあげ、ドリンク）」が誕生しました。1セットにつき、30円が福岡県共同募金会八幡東区支会へ寄付されます。血倉山展望台にお越しの際は、ぜひ「天宮セット」をお召し上がりください。



福岡県共同募金会では、共同募金の使いみちや共同募金運動について等をInstagramで配信しています。ぜひご覧ください。



はじめました！Follow me
Instagram

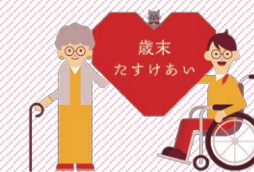


AKAIHANE.FUKUOKA

【問い合わせ先】 福岡県共同募金会 ☎ 092-584-3388



つながり ささえあう みんなの 地域づくり 歳末たすけあい運動推進中



共同募金運動の一環である「歳末たすけあい運動」は、毎年、12月1日から31日までの1カ月間で行われ、市区町村の区域ごとに行う「地域歳末たすけあい」と県域で行う「NHK歳末たすけあい」の2種類があります。

「地域歳末たすけあい」は、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに本県をはじめ全国各地で取り組まれており、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが孤立することなく安心して暮らすこ

とができるように、地域住民の方々と民生委員・児童委員、社会福祉協議会などの関係団体等が今年度実施する様々な福祉活動を資金面で支援するものです。その他、地域福祉サービス事業などにも使われます。

また、「NHK歳末たすけあい」は、中央共同募金会とNHK等との共催で実施しており、小規模共同作業所への支援や児童福祉施設の中学・高校卒業生への支援に使われます。

本年度、福岡県共同募金会では、コロナ禍において制限を受けてきた交流や助け合いの活動を通じた、地域のつながりづくりの重要性を改めて住民に発信するとともに、減収や失業等による生活困窮や社会的孤立・孤独などの課題、そして新たに顕在化している生活課題の解決に向けた取組を支援してまいります。皆様の温かいご協力をよろしくお願いいたします。

募金に関するお問い合わせは、
福岡県共同募金会まで
☎ 092(584)3388



令和5年度福岡県共同募金会会長表彰

令和5年10月23日、春日市のクローバープラザで福岡県社会福祉大会が開催されました。大会では、長年にわたり、共同募金運動に功績のあった個人及び団体等が表彰され、今年度は、個人27名、7団体、優秀地区として11の市町村支会が選ばれました。受賞されました皆様、おめでとうございます。



令和5年7月福岡県豪雨災害義援金のご寄付ありがとうございました

令和5年11月29日に、小郡高校のみなさんが本会を訪問され、「創立40周年記念で実施した三国が丘祭で、地域のために何ができるかを考え、地元飲食店とコラボした模擬店での収益金を地域の被災された方のために使いたい」と、本会にご寄付いただきました。義援金は、福岡県を通じ、被災された方々にお届けさせていただきます。



公益財団法人福岡県医薬品 配置協会様からの寄贈

公益財団法人福岡県医薬品配置協会様から「薬と健康の週間」の事業の一環として福岡県内の児童福祉施設等へ医薬品を寄贈いただきました。誠にありがとうございました。

(株)ツルハホールディングス様 及びクラシエ(株)様からの寄贈

今年度も、(株)ツルハホールディングス様及びクラシエ(株)様から、県内の社会福祉施設に車いす15台を寄贈いただきました。

この取組は、(株)ツルハホールディングス様とクラシエ(株)様による、ツルハグループ店舗で行う共同キャンペーンの売上の一部で車いすを購入し、ツルハグループが展開する「地域の皆様のお役に立ちたい」との願いによるもので、福岡県では平成29年度から毎年度車いすを寄贈いただいています。誠にありがとうございました。



寄付・寄贈

福岡トヨペット(株)様 からの寄贈

今年度も、福岡トヨペット(株)様から福岡県内の社会福祉施設に車いす21台を寄贈いただきました。

この取組は、平成19年11月30日に同社が創業以来新車累計販売台数60万台を達成されたことを記念して始められたもので、「地域の皆様のお役に立ちたい」との願いにより、社会貢献活動の一環として、毎年多数の車いすを県内の社会福祉施設に寄贈いただいています。平成28年以降は被災された施設へも寄贈いただきました。昨年度までの寄贈台数累計は622台となります。誠にありがとうございました。

在福岡ベトナム社会主義 共和国領事館様からの寄付

在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館様よりご寄付をいただきました。ご寄附いただきました浄財は、障がいを持つ子どもたちの社会福祉推進に有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

催し

ふくおか“きずな” フェスティバルの 開催



日 時 令和6年2月18日(日)
10時～15時

会 場 クローバープラザ
(春日市原町3-1-7)

内 容

- 開会式典
- 基調講演
「ボランティア活動の『いま』と『これから』(仮題)」
講師：大阪ボランティア協会
理事長 早瀬 昇 氏
- 分科会
ボランティアと地域の居場所づくりや学生ボランティアの実践報告等
- 親子で楽しめるイベント
- スタンブラリー
- まごころ製品の販売

※ 入場無料

※ 分科会や親子で楽しめるイベント、申し込みが必要な内容などの詳細は ホームページをご確認ください。

問 地域・ボランティアセンター
TEL 092(584)3377

2024年版社会福祉手帳の販売を開始しました

社会福祉関係法律の要点や各種相談窓口の連絡先など、福岡県の福祉の情報が満載の手帳が完成しました。福祉関係者必携です。

仕 様

携帯に便利なポケットサイズ(縦14cm×横8.5cm×厚さ1.7cm)

主な掲載内容

- ・ 見開き月間スケジュール、週間スケジュール
- ・ 社会福祉関係法律の要点
- ・ 福岡県内の社会福祉施設、関係団体、各種相談窓口の連絡先など

申込方法

H P掲載の申込用紙に記入のうえ、郵送またはFAX、メールで下記あてにお申し込みください。後日、現品納入の際に請求書・振込用紙を同封いたします。
(メールで申し込む場合はタイトルに「手帳発注」と記載し、申込書を添付下さい)

申し込み、お問い合わせ

総務企画部 総務課
〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ西棟6階
TEL : 092(584)3377 / FAX : 092(584)3369
Mail : info@fuku-shakyo.jp



900円
(税込、送料別)

送 料 1～2冊 : 180円
3～6冊 : 370円
7冊以上 620円



福祉人材センターのホームページをリニューアルしました

この度、福祉人材センターのホームページを全面的にリニューアルしました。より使いやすいホームページを目指して、デザインとページの構成を見直し、新規機能を追加するとともに、スマートフォンやタブレットでの表示に対応しましたので、デバイスを問わずにいつでも閲覧いただけます。福祉の求人・求職活動にぜひご活用ください。



福祉人材センター
〒816-0804 春日市原町 33-11-7
クローバープラザ東棟2階
TEL:092(584)3310
FAX:092(584)3319



「福祉」の仕事がすぐ見つかる! LINE公式アカウント
検索ID @793zewao

福岡県令和5年7月豪雨災害義援金へのご協力をお願いします

福岡県共同募金会(以下「本会」という。)では、被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を令和5年7月18日(火)から**令和6年3月29日(金)まで**行います。

なお、本会で取りまとめた義援金については、福岡県災害対策本部へ送金し、福岡県が設置する義援金品配分委員会を通じて被災者に配分されます。

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行(※)		00980-9-213667	福岡県共募 福岡県令和5年7月 豪雨災害義援金
福岡銀行	春日原支店	普通預金 2023227	社会福祉法人 福岡県共同募金会
西日本シティ銀行	春日原支店	普通預金 3130506	

※ ゆうちょ銀行における窓口での振替料金は無料。